

前期が終了し、8月1日(土)から9月13日(日)が、農大の夏休みです。

8/2, 交流プラザフェスタで出張販売!

収穫した農産物は、農大生の模擬会社「そらそうじゃ」が販売します。8月1日は、夏休みの初日ですが、収穫と出荷調整のために登校しました。翌日の早朝出発して、県立障がい者交流プラザで開催された「交流プラザフェスタ」で、出張販売を実施しました。



「そらそうじゃ」の幟を立てて

実習とプロジェクト研究は夏休みでも継続!



梨は夏が本番。手入れ、収穫、調査に夏休みはありません。



8/3から、東京で開催の「農業経営力養成講座(夏3日間コース)」に本校生が参加。



2日目のグループワークでの、本校生による発表の様子です。



1日目と2日目の研修内容を受け、3日目は、参加者一人ひとりが、就農後の経営計画について発表しました。



一般社団法人アグリフューチャージャパンが、8月3日(月)から3日間開催した講座に、2年次生1人、1年次生2人が参加しました。初日は、「農業経営者に必要なものは何かについて考える」、2日目は、「先輩農業者の取り組みを参考に、自信の経営計画を考える」、3日目は、「自分が考えた就農後の経営計画について発表する」というプログラムでした。

8/7に、農大生、農業科高校生、県内農業青年のつどいが、本校で開催されました。

8月7日(金)、9時半から4時までの丸一日をかけて、本校生と、農業科高校生、県内農業青年が一堂に会し、お互いに意見発表、プロジェクト発表について学び、意見交換を行いました。これを機会に、お互いの活動における連携を図ります。



本校生のプロジェクト発表



グループワークで意見交換



意見交換の内容を全体に発表

8/18~20, 四国版「農業経営力養成講座」(三好市会場)に参加



初日のグループ発表



2日目、農大卒業生の講演



1,2年2人ずつ、専攻科1人の参加

四国の4農大から学生が集まる「四国版農業経営力養成講座」が、8月18日(火)から3日間実施され、農産物生産に、経営的観点を導入すること等を学びました。四国の農大卒業生の活躍事例を伺ったり、四国の食材を全国にアピールする方法について協議等を行いました。最終日、一人ひとりが、卒業後の行動指針を発表しました。

農業体験学習



すだち農家での体験学習の様子

農業体験学習では、1週間×4回、先進経営体へ出向き勉強します。2年次の夏休みが4回目。この実習の仕上げは、9月末の、学生や関係者を前にした発表です。

造園技能検定(実技)が8月21日(金)にあい本校生も挑戦。



学校での最終授業は雨でした。実技試験本番。ひとつひとつ確実に!



学校で5月から勉強し、学科試験、実技試験に臨みました。

水稲は、こしひかりともちみのりを栽培しています。左から順に、もちみのりの田植え(6/12)、もちみのりの出穂期(8/26)、こしひかりの稲刈り(9/2)の様子です。

